

北海道地区自然災害科学資料センター活動報告メモ

(平成 16 年度)

(1) 予算の執行

配当額 1, 633, 000 円を通常活動経費および本センター報告出版費にあてる

(2) 一般活動 (地区幹事会・センター運営委員会)

第 1 回幹事会：平成 16 年 12 月 20 日 (月)

1. 研究連絡委員会

- ・ 自然災害研究協議会の予算について

自然災害研究協議会より平成 16 年度予算が配当された

(予算の執行方法)

地区フォーラム等経費 30 万円については、平成 17 年 2 月 18 日にフォーラム開催予定

地区活動旅費 20 万円については、年度末の総会に地方から出席される会員の旅費に充当予定

2. 2004 年度シンポジウムについて

- ・ 平成 16 年 9 月 12 日オープンフォーラム、13・14 日第 23 回日本自然災害学術講演会が静岡県富士市富士常葉大学で開催された
- ・ オープンフォーラムは「富士防災サミット」について行われ、富士山フィールドトリップで富士山火口を見学、その後シンポジウムが行われた
- ・ 来年は 11 月頃に宮城県仙台市東北大学で開催予定

3. 平成 16 年度予算案

- ・ 原案の通り承認された

4. 年度末の総会

- ・ 平成 17 年 2 月 25 日 (金) に開催予定
- ・ 退官予定の先生に特別講演を依頼(センター長より)

5. 自然災害資料センター報告 20 号の発刊について

- ・ 19 号の原稿募集中
- ・ 退官予定の会員及び、台風 18 号により被害を受けた北大附属植物園の方に原稿を依頼してはどうかという意見が出た

6. 次期部会長、センター長および幹事について

- ・ 次期部会長は鏡味幹事、センター長は林川幹事にお願いすることとなった
- ・ 幹事については各委員に適任者の推薦を依頼

7. その他

- ・ 日本災害情報学会について
第 6 回学会大会は平成 16 年 11 月 19・20 日東京大学にて開催された
- ・ 最近の地震災害多発を鑑み、もっとワークショップ等を開催した方が良いのではないかという意見が出た
- ・ 各会員、特に退官予定の会員に不必要になった資料・蔵書等を当センターに寄贈していただくようお願いしてはどうかという意見が出た

(3) 出版活動

北海道地区自然災害科学資料センター報告 Vol. 19の刊行(2005年2月)

(4) 地区総会：平成17年3月10日(木) 15:00～17:30

北海道大学大学院工学研究科研究科 A101会議室

15:00～16:00 地区総会

16:00～17:30 特別講演会

北海道大学工学研究科 佐伯 昇先生

講演題目 『阪神大震災のコンクリートの損傷』

北海道大学理学研究科 播磨屋 敏生先生

講演題目 『自然災害科学と私』

北海道大学工学研究科 藤田 睦博先生

講演題目 『新しい流出解析法』

(五十音順)

北海道地区自然災害科学資料センター活動報告メモ

(平成 17 年度)

(1) 予算の執行

配当額 1, 494, 000 円を通常活動経費および本センター報告出版費にあてる

(2) 一般活動 (地区幹事会・センター運営委員会)

第 1 回幹事会：平成 17 年 8 月 12 日 (金)

1. 第 1 回自然災害研究協議会報告

平成 17 年 4 月 28 日京都大学防災研究所にて「平成 17 年度第 1 回京都大学防災研究所自然災害研究協議会」が開催された

- ・鏡味部会長が議長に選出(任期 2 年)
- ・各地区部会からの活動報告がなされた
- ・自然災害研究協議会より平成 17 年度予算が配当された(今年度の科研費は不採択)

(内訳) 北海道地区フォーラム等経費 40 万円 北海道地区活動旅費 30 万円

地区フォーラム等経費の執行については今後災害があればその方面を優先的にフォーラムを開催する予定

- ・第 42 回自然災害科学総合シンポジウムは 9 月 17 日キャンパスプラザ京都にて開催予定

2. 日本自然災害学会について

- ・11 月 17～19 日に宮城県仙台市東北大学で開催予定
- ・11 月 17, 18 日学術講演会、19 日オープンフォーラム
- ・来年は関東地方、再来年は北海道の予定

3. 幹事交代について

- ・原案の通り承認された

4. 平成 16 年度決算報告および平成 17 年度予算案

- ・原案の通り承認された

5. 自然災害資料センター報告 19 号の発刊および 20 号の募集について

第 2 回幹事会：平成 17 年 12 月 14 日 (水)

1. 第 2 回自然災害研究連絡協議会報告

平成 17 年 9 月 16 日キャンパスプラザ京都にて「平成 17 年度第 2 回京都大学防災研究所自然災害研究連絡協議会」が開催された

- ・17 年度の活動状況(各地区部会 人材データベース 18 年度以降の科研費の申請について)
- ・第 42 回自然災害科学総合シンポジウム(報告 2)
- ・今年度の突発災害研究、緊急研究について

「2005 年 8 月 19 日に発生した宮城県沖地震に関する調査研究」 1880 万円が採択された

2. 2005 年度シンポジウムについて

第 42 回自然災害科学総合シンポジウムが平成 17 年 9 月 17 日キャンパスプラザ京都にて開催された

- ・成果報告
- ・シンポジウム＝災害分野における国際的活動の動向と将来

3. 第24回日本自然災害学会学術講演会について

平成17年11月17～19日宮城県仙台市東北大学にて開催された

- ・11月17～18日 学術講演会(東北大学工学部青葉記念館)
- ・11月19日オープンフォーラム(せんだいメディアテーク)＝宮城県沖地震対策の現状と課題
- ・平成18年度:関東地区 群馬大学(桐生市)にて11月末開催予定
- ・平成19年度:北海道地区 北海道大学(札幌市)にて9月末開催予定(学術交流会館)

平成18年10月までに日程・場所を決める必要あり(科研費申請の都合上)

北海道地区では実行委員会を設置し、会場手配・運営・懇親会手配を行う必要あり

4. 北海道地区フォーラムについて

仮題:プレート境界の巨大地震－2003年十勝沖地震から何を学ぶか－

日時:平成18年2月22日(水)13時～17時

場所:北海道大学学術交流会館 小講堂

詳細決定後、北海道・札幌市・北海道強震動研究会・建築学会等各学会と連絡をとる

5. 自然災害資料センター報告20号の募集について

6. 年度末の総会について

- ・平成18年3月10日(金)あたりに開催予定
- ・退官予定の会員にセンター長より特別講演を依頼

(3) 出版活動

北海道地区自然災害科学資料センター報告 V o 1 . 2 0 発行なし

(4) 地区総会:平成18年3月10日(金) 15:00～17:30

北海道大学大学院工学研究科研究科 A101会議室

15:00～15:30 地区総会

15:30～17:30 特別講演会

北海道大学工学研究科 氏平 増之先生

講演題目 『岩盤斜面における落石挙動について』

北海道大学低温科学研究所 成瀬 廉二先生

講演題目 『氷河ダムの成長と大崩壊

(パタゴニア、ペリート・モレノ氷河; 2003/04夏)』

北海道大学工学研究科 長谷川 和義先生

講演題目 『最近の気象変化と水害対応のあり方』

北海道大学農学研究科 矢沢 正士先生

講演題目 『2003年十勝沖地震の農地被害

－農業土木学会北海道支部の取組みから－』

(五十音順)